

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1970101752
法人名	株式会社 百百
事業所名	グループホーム『笑がお』
所在地	〒400-0071 甲府市羽黒町1461-1
自己評価作成日	令和 5 年 1 月 20 日
評価結果市町村受理日	令和 年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/19/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
聞き取り調査日	令和 5 年 3 月 15 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私たち、「笑がお」の基本理念は、「その人らしさ」にあり、常に利用者様本意の姿勢で取り組んでいます。ご本人の尊厳に配慮し、安心を提供、健康を保ち、自立を支援、その人の望む馴染んだ暮らしができるように、お手伝いをしています。ありのままの姿を受け止め、かけがえのないお一人として向き合い、思いに共感し、私たちに何ができるのか、毎日の生活の中で気づきを大切にし、心の声に耳を傾ける意識を持って認知症介護のプロとして関わらせて頂いています。思いに寄り添った年月の中で「第二の我が家」での看取りを希望される方も多く、慣れ親しんだ場所や人の中で、穏やかな最期を過ごされ、今までに41名の皆様が「笑がお」から旅立たれました。今後も最期まで「疑似家族」「第二の我が家」として、その役割を果たしていきたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理念に「笑がお」を掲げ、その人の第二の我が家として自立した生活が送れる様、本人の気持ちを大切に、閉じこもりなく地域と関わりながら終末期に対応する。そんな支援介護を目指し、認知症センター方式を活用され、職員に、利用者家族の気持ちが具体的に確認できる方法を取り支援されていました。コロナ禍以前には、お正月やお盆に家族が布団を持ち込み一緒に居室で宿泊されるなど、できることの希望は受け入れる介護や支援要望に積極的に取り組む姿勢が伺えました。運営委員の参加も地域の方を含め20名ほど参加していました。地域の力を借り、地域と共に歩むグループホームを目指していました。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20) (※窓越しの面会など距離をとった交流)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている(参考項目:49)(※感染対策を行い、可能な場所に出かけているか)(※戸外とは事業所の庭に出る等も含みます)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム笑がお**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1 階)	ユニット名(2 階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームの入り口や各フロアに理念を掲げ、折に触れて皆で共有しています。また毎月開催しているカンファレンスで全職員と理念の共有をして、その方の支援方法をチームで考え実施しています。	ホームの入り口や各フロアに理念を掲げ、折に触れて皆で共有しています。また毎月開催しているカンファレンスで全職員と理念の共有をして、その方の支援方法をチームで考え実施しています。	開設時職員と、どんな支援介護を目指すか検討され理念が作成されていました。毎月開催のカンファレンスや職員会で、理念となっている「笑がお」で介護や支援が行われているか振り返りがされていました。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	四季を通じて可能な限り屋外に出掛けることをモットーとしており、地域のお祭り、文化祭、運動会などの地域行事で、コロナ禍以前は、優しいもてなしを受けています。自治会に加入して、回覧板、ゴミ掃除当番などの地域住民としての役割を果たしながら交流しています。	四季を通じて可能な限り屋外に出掛けることをモットーとしており、地域のお祭り、文化祭、運動会などの地域行事で、コロナ禍以前は、優しいもてなしを受けています。自治会に加入して、回覧板、ゴミ掃除当番などの地域住民としての役割を果たしながら交流しています。	地域との繋がりを計画され「羽黒町のボランティアの輪」と積極的に関わりを持ち、自治会の行事にも参加されていました。いろんな意見を頂き、改善が図られていました。コロナ禍のため現在はできていません。地域への散歩や正月に地域の獅子舞等が事業所に来ていただいていた。感染対策を行い、できる地域交流を計画されていました。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今年度もコロナ禍で全ての取り組みが厳しい状況ではありましたが、例年は運営推進会議での発信、地域ボランティアの受け入れ、認知症講座など多義にわたって活動ができていました。	今年度もコロナ禍で全ての取り組みが厳しい状況ではありましたが、例年は運営推進会議での発信、地域ボランティアの受け入れ、認知症講座など多義にわたって活動ができていました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度もコロナ禍で書面開催のため多くのテーマは無理でしたが例年は20名からの出席によりアドバイスも多くなり、地域や家族からのニーズに応えるべく、職員間でその都度議事録を共有し、改善点等話し合っ実践に繋がっています。	今年度もコロナ禍で書面開催のため多くのテーマは無理でしたが例年は20名からの出席によりアドバイスも多くなり、地域や家族からのニーズに応えるべく、職員間でその都度議事録を共有し、改善点等話し合っ実践に繋がっています。	地域の方の運営委員参加は多く、アドバイスや意見を頂き、改善につながっていました。事業所の中にとこもるのではなく、地域に出て交流を図るために施錠しない。安全のためフェンスの設置の提案を頂き改善されていました。運営委員には専門職の方もいて、支援や介護以外の提案も多くいただき改善されていました。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	今年度もコロナ関連で、何となく連携する機会がありホームならではの課題を相談してきました。例年ですと市のボランティア養成実習や、甲府市介護サービス事業者連絡協議会の委員としての協力もさせてもらいながら連携しています。	今年度もコロナ関連で、何となく連携する機会がありホームならではの課題を相談してきました。例年ですと市のボランティア養成実習や、甲府市介護サービス事業者連絡協議会の委員としての協力もさせてもらいながら連携しています。	市町村との連携は行われ、ボランティア養成、認知症介護2級の実習の受け入れの協力ができていました。コロナ感染予防キット、ワクチン接種の状況等、アドバイスや情報の共有ができ連携がとれていました。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	例年は、権利擁護等の研修への出席や、講師を招いての勉強会など、職員同一知識を深めながら問題意識を持って取り組んでいます。開設以来、身体拘束の同意書を頂いたのは1例のみです。創意工夫をしながら身体拘束をしないケアを実施しています。	例年は、権利擁護等の研修への出席や、講師を招いての勉強会など、職員同一知識を深めながら問題意識を持って取り組んでいます。開設以来、身体拘束の同意書を頂いたのは1例のみです。創意工夫をしながら身体拘束をしないケアを実施しています。	権利擁護委員会が中心の研修や勉強会が、3か月毎に開催され、職員の意識の向上が図られていました。やむを得なく身体拘束を行う時は、家族の理解を得る仕組みができていました。日々の支援・介護でスピーチロックはしていないか振り返りを行っていました。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	例年は、権利擁護等の研修への出席や、講師を招いての勉強会など、職員同一知識を深めながら問題意識を持って取り組んでいます。虐待マニュアルで、不適切なケアを検証する機会を持ち、負担やストレスを取り除く環境に配慮しています。	例年は、権利擁護等の研修への出席や、講師を招いての勉強会など、職員同一知識を深めながら問題意識を持って取り組んでいます。虐待マニュアルで、不適切なケアを検証する機会を持ち、負担やストレスを取り除く環境に配慮しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護等の研修を主要な職員が皆受講しており、施設内の勉強会等で伝達し、職員一同知識を深めて、必要に応じて相談に繋がって活用できています。	権利擁護等の研修を主要な職員が皆受講しており、施設内の勉強会等で伝達し、職員一同知識を深めて、必要に応じて相談に繋がって活用できています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談の時から、何でも聞いて頂けるように、丁寧な説明を心掛け、理念、方針の理解を得ながら疑問点などに答えられるようにその都度誠実に対応して信頼関係の構築を心掛け、契約、改正等に理解や納得を図っています。	入居相談の時から、何でも聞いて頂けるように、丁寧な説明を心掛け、理念、方針の理解を得ながら疑問点などに答えられるようにその都度誠実に対応して信頼関係の構築を心掛け、契約、改正等に理解や納得を図っています。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム笑がお**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1 階)	ユニット名(2 階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見の多くは、書面開催での運営会議が主になっております。今年もコロナ関連、対策での様々な意見を頂いています。職員間で話し合いながら方針を立てて議事録とし明確化し、ご家族にお伝えをして実践しています。	意見の多くは、書面開催での運営会議が主になっております。今年もコロナ関連、対策での様々な意見を頂いています。職員間で話し合いながら方針を立てて議事録とし明確化し、ご家族にお伝えをして実践しています。	運営委員会や家族の面会時に意見を聞いていました。12月にコロナのクラスターが発生し、家族との連絡が大変になった時、家族の要望で一斉メールで事業所情報をわかりやすく伝える方法を取り入れていました。コロナ禍で、感染予防のため電話の交流や短時間の面会を行っていました。請求時に個々の様子を伝えていました。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常的にケアに介入して関わりを多く持つ努力をしています。毎月開催する全体会議で意見を出し合い、ケアのニーズにふさわしい配置交換をしたり、必要とされるハード面の整備など、可能な限り反映して働きやすい環境作りをしています。	日常的にケアに介入して関わりを多く持つ努力をしています。毎月開催する全体会議で意見を出し合い、ケアのニーズにふさわしい配置交換をしたり、必要とされるハード面の整備など、可能な限り反映して働きやすい環境作りをしています。	日頃のケアを行う中で、職員の意見で物品の一括購入をし必要に応じ個々の負担とすることで、時間の軽減につながっていました。職員の勤続年数は比較的長く加算も取れていました。管理者は支援に入りながら、職員の意見や提案を聞く体制を作っていました。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回キャリアパス能力シートを使用して個別の面接をしています。現状の課題や努力目標を掲げてもらい、努力や実績、労働時間、やりがいなど双方のニーズを確認して、働きやすい職場作りになるように環境整備をしています。	年に2回キャリアパス能力シートを使用して個別の面接をしています。現状の課題や努力目標を掲げてもらい、努力や実績、労働時間、やりがいなど双方のニーズを確認して、働きやすい職場作りになるように環境整備をしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得はもちろんのこと、内外の研修に、積極的に受けられる機会を、経験値に応じて確保しています。今年度もコロナの影響でその機会は減っていますが、法人内では可能な限り学べる機会を設けています。	資格取得はもちろんのこと、内外の研修に、積極的に受けられる機会を、経験値に応じて確保しています。今年度もコロナの影響でその機会は減っていますが、法人内では可能な限り学べる機会を設けています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	山梨県グループホーム協力で毎年企画しての相互訪問や研修等で交流していますが、今年度もコロナの影響で半減しています。他の事業所の方に運営推進会議の委員になって頂いたり、他の事業所の運営推進会議に参加させて頂いたりして、サービス向上に役立っています。	山梨県グループホーム協力で毎年企画しての相互訪問や研修等で交流していますが、今年度もコロナの影響で半減しています。他の事業所の方に運営推進会議の委員になって頂いたり、他の事業所の運営推進会議に参加させて頂いたりして、サービス向上に役立っています。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族の協力も得て、アセスメントとして認知症介護研究、研修東京センターの作成した"センター方式"により生活史、療養歴、家族歴、暮らし方、心身の情報、焦点情報など多義にわたってその方を知り、入居前に職員間で共有しています。	ご家族の協力も得て、アセスメントとして認知症介護研究、研修東京センターの作成した"センター方式"により生活史、療養歴、家族歴、暮らし方、心身の情報、焦点情報など多義にわたってその方を知り、入居前に職員間で共有しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談から始まり、入居に至るまで、丁寧に話し合いを重ね、要望や不安などに耳を傾けて、共に本人を支えていけるように信頼関係を築き、安心して貰えるように配慮しています。	入居相談から始まり、入居に至るまで、丁寧に話し合いを重ね、要望や不安などに耳を傾けて、共に本人を支えていけるように信頼関係を築き、安心して貰えるように配慮しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	認知症による周辺症状は様々ですが、共同生活の中で何が難しいかを、多職種の意見も聞きながら見極め、一番望ましいサービスが提供できるように思案しています。基本的には症状の軽減が図れるように努力して、積極的な受け入れをしています。	認知症による周辺症状は様々ですが、共同生活の中で何が難しいかを、多職種の意見も聞きながら見極め、一番望ましいサービスが提供できるように思案しています。基本的には症状の軽減が図れるように努力して、積極的な受け入れをしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	"笑がお"のモットーは、認知症の人を見るのではなく、一人の人間として共に生活する"家族"と捉え、その方を深く理解して、共に共感しながら暮らしていく事なので、馴染みの信頼関係を築くことができます。	"笑がお"のモットーは、認知症の人を見るのではなく、一人の人間として共に生活する"家族"と捉え、その方を深く理解して、共に共感しながら暮らしていく事なので、馴染みの信頼関係を築くことができます。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム笑がお**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1階)	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月ご家族にお手紙を出し、現状の理解を得ながら、ご家族として支援をして欲しい事も投げかけていて、面会の頻度も多く気軽に相談できる環境が整っています。共に支える"疑似家族"として泣き笑いしながら暮らしています。	毎月ご家族にお手紙を出し、現状の理解を得ながら、ご家族として支援をして欲しい事も投げかけていて、面会の頻度も多く気軽に相談できる環境が整っています。共に支える"疑似家族"として泣き笑いしながら暮らしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	"センター方式"を知る中で得られた情報を基に、ご家族と協力して手紙や電話のやり取り、行きつけの図書館で本の貸し出し利用、友人の面会など個々に様々でしたが、今年度もコロナの影響で限られてしまいました。	"センター方式"を知る中で得られた情報を基に、ご家族と協力して手紙や電話のやり取り、行きつけの図書館で本の貸し出し利用、友人の面会など個々に様々でしたが、今年度もコロナの影響で限られてしまいました。	今までの生活を大切に、本人本位の希望する関係が保てる支援を行っていました。コロナ感染が心配されますが、家族とのつながりや地域との関わりを図っていました。制限がある中で、できることを本人と探っていました。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者に支えあえるような関係に努めている	協働するお菓子作り、漬物作り、ほうとう作り、餅つきなど輪になって行う事も多くあり、職員は橋渡しをしながらお互いを紹介して、会話が弾み馴染みの関係が持てる様に日々の支援をしています。今年度もコロナの影響で中止せざるを得ない状況でもあります。	協働するお菓子作り、漬物作り、ほうとう作り、餅つきなど輪になって行う事も多くあり、職員は橋渡しをしながらお互いを紹介して、会話が弾み馴染みの関係が持てる様に日々の支援をしています。今年度もコロナの影響で中止せざるを得ない状況でもあります。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居のほとんどが看取りの方なので、グリーフケア的な関わりを持ち、お墓参りの後立ち寄り下さったり、身の上相談に来て下さったり、故人が作られていた新米を届けて下さったり、家族としての繋がりを維持しています。	退居のほとんどが看取りの方なので、グリーフケア的な関わりを持ち、お墓参りの後立ち寄り下さったり、身の上相談に来て下さったり、故人が作られていた新米を届けて下さったり、家族としての繋がりを維持しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	"センター方式"を参考にしながら、その方を知る為のコミュニケーションを欠かさず、気付きを持って関わっています。思いや意向は毎月開催する全体会議で情報を共有して、実践に繋げています。	"センター方式"を参考にしながら、その方を知る為のコミュニケーションを欠かさず、気付きを持って関わっています。思いや意向は毎月開催する全体会議で情報を共有して、実践に繋げています。	本人本位の視点から利用者の情報を共有するシートを活用され、少しでもより良い生活や支援が行えるように、職員は寄り添いながら本人の希望を探っていました。センター方式のシートを活用することで、職員は明確に具体的な関わりを持つことが出来、意向を把握し、毎月の会議で情報の共有を行っていました。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族の協力も得て、アセスメントとして認知症介護研究、研修東京センターの作成した"センター方式"により生活史、療養歴、家族歴、暮らし方、心身の情報、焦点情報など多義にわたってその方を知り、入居前に職員間で共有しています。	ご家族の協力も得て、アセスメントとして認知症介護研究、研修東京センターの作成した"センター方式"により生活史、療養歴、家族歴、暮らし方、心身の情報、焦点情報など多義にわたってその方を知り、入居前に職員間で共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居時の暫定プランを一つの目安として、暮らしの中で気づいた情報を職員間で共有して、持てる能力に着目しながら意見を出し合い、更に具体的なプランを作成して実践して把握に努めています。	入居時の暫定プランを一つの目安として、暮らしの中で気づいた情報を職員間で共有して、持てる能力に着目しながら意見を出し合い、更に具体的なプランを作成して実践して把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	"センター方式"で得られた情報を基盤に現状で何が可能か毎月の担当者会議で検討して、課題の解決に務めたり、新たな課題の発見に繋げながら、現状に即したプランを細かく修正しながら、計画を作成しています。	"センター方式"で得られた情報を基盤に現状で何が可能か毎月の担当者会議で検討して、課題の解決に務めたり、新たな課題の発見に繋げながら、現状に即したプランを細かく修正しながら、計画を作成しています。	認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式に基づき、職員の意見を参考にしていました。日常の連絡ノートや毎朝のミーティングで話し合われたことを参考に、計画されていました。主治医には計画を見ていただき、意見を聞いていました。健康面では薬剤師や看護師の意見も参考に計画されていました。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録がケアプランに沿っての記載方法となっていて、実践の評価や考察など気づきを記載する箇所もあり職員間で共有できて実施されています。また介護支援専門員はその記録を基にプランの更新に役立っています。	記録がケアプランに沿っての記載方法となっていて、実践の評価や考察など気づきを記載する箇所もあり職員間で共有できて実施されています。また介護支援専門員はその記録を基にプランの更新に役立っています。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム笑がお**

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1階)	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	看取り支援をしている関係で薬局の在宅療養管理指導を受け入れて、専門のアドバイスを受たり、訪問診療により医療のニーズに即した対応をしたり、地域の社会資源により、豊かな生活が営まれるように配慮しています。	看取り支援をしている関係で薬局の在宅療養管理指導を受け入れて、専門のアドバイスを受たり、訪問診療により医療のニーズに即した対応をしたり、地域の社会資源により、豊かな生活が営まれるように配慮しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の一人員として根付いており、地域ボランティアの受け入れや、地域行事への参加など、馴染みの関係の中から生じてくる役割はたくさん有り、利用者の作ったナイロンたわしなどは毎年好評で地域のたくさんの家庭で使用してくれています。	地域の一人員として根付いており、地域ボランティアの受け入れや、地域行事への参加など、馴染みの関係の中から生じてくる役割はたくさん有り、利用者の作ったナイロンたわしなどは毎年好評で地域のたくさんの家庭で使用してくれています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	看取りを受け入れている関係で、在宅医療医が“笑がお”の主治医になっており、訪問診療をして頂いています。24時間365日いつでも連携しながら適切な医療を受けられるように支援をしています。	看取りを受け入れている関係で、在宅医療医が“笑がお”の主治医になっており、訪問診療をして頂いています。24時間365日いつでも連携しながら適切な医療を受けられるように支援をしています。	入所時に本人家族とかかりつけ医への通院の確認を行っていました。コロナ禍なので通院は事業所で行い、通院時の様子は変化があったときは家族に報告され、情報の共有はできていました。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の体調管理については、訪問看護と連携できる体制が整っていて、必要に応じては主治医に指示を仰いで適切な対応ができています。	日々の体調管理については、訪問看護と連携できる体制が整っていて、必要に応じては主治医に指示を仰いで適切な対応ができています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	病院関係者とは顔の見える関係を築き、情報提供や早期退院の受け入れなど、何でも相談のできる環境が整っています。最近では“笑がお”に一日でも早く戻るのが良いとソーシャルワーカーとの信頼を構築しています。	病院関係者とは顔の見える関係を築き、情報提供や早期退院の受け入れなど、何でも相談のできる環境が整っています。最近では“笑がお”に一日でも早く戻るのが良いとソーシャルワーカーとの信頼を構築しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期については、入居相談の時から事業所の方針を説明しています。重度化に伴いご家族の希望を確認し、“笑がお”で出来る事を説明することで、看取りを希望する家族も多く、開設より41名の看取りを支援してきました。	重度化や終末期については、入居相談の時から事業所の方針を説明しています。重度化に伴いご家族の希望を確認し、“笑がお”で出来る事を説明することで、看取りを希望する家族も多く、開設より41名の看取りを支援してきました。	終末期の対応は入所時、本人や家族と、グループホームでできる事の確認をしていました。事業所には、常勤ではありませんが看護師もいます。医療的なことは訪問看護師が医療の対応を行っていました。また特別擁護老人施設など他施設への異動希望にはそれぞれ連携が取れ、応じていました。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアルを整備し全職員と共有して、初期対応が誰にでも出来るように訓練を重ねています。方が一に備えて、医療、看護と連携できる体制を整えて初期対応をしてもらっています。	緊急対応マニュアルを整備し全職員と共有して、初期対応が誰にでも出来るように訓練を重ねています。方が一に備えて、医療、看護と連携できる体制を整えて初期対応をもらっています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常災害対策計画を作成して、施設内研修で周知しています。年2回避難訓練を実施すると共に、地域の防災士の方が運営推進委員となっているため折に触れてアドバイスが受けられる環境にあります。備蓄等も完備し避難場所も周知できています。	非常災害対策計画を作成して、施設内研修で周知しています。年2回避難訓練を実施すると共に、地域の防災士の方が運営推進委員となっているため折に触れてアドバイスが受けられる環境にあります。備蓄等も完備し避難場所も周知できています。	ハザードマップでは土砂災害地域になっていたので、災害訓練が実施されています。運営委員に防災士の方がおり、地域との協力体制もできています。事業所の見取り図に個々の移動手段が明記され、外部の協力の受け入れができていました。備蓄や避難場所の確認もしっかり把握できていました。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居前から“センター方式”による情報やケアプランにより、その方らしさや尊厳ある関わりを職員間で情報共有して、入居後は更に理解を深めていく為、傾聴時間も多心掛けて、誇りやプライバシーを大事にしています。	入居前から“センター方式”による情報やケアプランにより、その方らしさや尊厳ある関わりを職員間で情報共有して、入居後は更に理解を深めていく為、傾聴時間も多心掛けて、誇りやプライバシーを大事にしています。	個々を尊重し、プライバシーの保護を心がけていました。入浴等同性介護に配慮していますが、利用者の男女比は女性が多く、職員には男性がおり、同性介護ができないことがあります。了解を取り、安心な介護をされていました。	

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム笑がお**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1階)	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いが表出できるように、惜しみなく時間をかけ、そこで得た希望などは、可能な限り実現できるように職員間で話し合い、自己決定が出来るように工夫しています。	ご本人の思いが表出できるように、惜しみなく時間をかけ、そこで得た希望などは、可能な限り実現できるように職員間で話し合い、自己決定が出来るように工夫しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	加齢と重度化により、希望の表出ができなくなってきている方もいますが、その方が喜ぶことや、長年の生活習慣等を大事にしなが、一人一人のペースを大事にして、日々の支援をしています。	加齢と重度化により、希望の表出ができなくなってきている方もいますが、その方が喜ぶことや、長年の生活習慣等を大事にしなが、一人一人のペースを大事にして、日々の支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時にご自身で選択出来る方は一緒に関わったり、洗面所でお化粧をしたり等、身だしなみの配慮、お出かけへの配慮など、ご本人の意思を尊重しながら丁寧に導きを行っています。	起床時にご自身で選択出来る方は一緒に関わったり、洗面所でお化粧をしたり等、身だしなみの配慮、お出かけへの配慮など、ご本人の意思を尊重しながら丁寧に導きを行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の野菜等は、ご近所や知り合いから頂くことが多く、一緒に料理をして品数に添えたりしています。またイベント時の、ほうとう作り、お弁当作り、手巻き寿司作り、お祭りでの焼きそば、漬物作り等、食を通しての楽しみを見出しています。	季節の野菜等は、ご近所や知り合いから頂くことが多く、一緒に料理をして品数に添えたりしています。またイベント時の、ほうとう作り、お弁当作り、手巻き寿司作り、お祭りでの焼きそば、漬物作り等、食を通しての楽しみを見出しています。	3食配食サービスを行っていますが、味噌汁やいただき物の野菜で一品作ることがあり、利用者と皮むきなどを行っていました。行事やイベントでの食事は配食を止め、希望する食事を皆で関わりながら作って楽しんでいました。コロナ禍のため外食等は行っていませんが、お弁当を作り、外で楽しむなど変化をつけていました。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主治医や薬剤師、看護職を中心に健康チェックをしながら、栄養や水分量に考慮しています。必要に応じて栄養補助食品の追加やカロリー制限など基礎疾患に応じて支援をしています。	主治医や薬剤師、看護職を中心に健康チェックをしながら、栄養や水分量に考慮しています。必要に応じて栄養補助食品の追加やカロリー制限など基礎疾患に応じて支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後個別の能力に応じて見守りや介助に介入して残渣物を残さないように配慮しています。今年度もコロナの影響で歯科医師、衛生士の訪問が減少していますが、口腔内の清潔管理に努めています。	毎食後個別の能力に応じて見守りや介助に介入して残渣物を残さないように配慮しています。今年度もコロナの影響で歯科医師、衛生士の訪問が減少していますが、口腔内の清潔管理に努めています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居時より排泄リズム、尿意便意等、職員間で時間を掛けて排泄パターンを把握して共有しています。時間を定めてトイレ誘導を行っています。夜間帯には、必要に応じてポータルトイレを使用して自立に向けた支援をしています。	入居時より排泄リズム、尿意便意等、職員間で時間を掛けて排泄パターンを把握して共有しています。時間を定めてトイレ誘導を行っています。夜間帯には、必要に応じてポータルトイレを使用して自立に向けた支援をしています。	排泄の自立に力を入れ、排泄パターンを把握され清潔に努めていました。飲食を基本に水分の摂取量、ヨーグルトやバナナなどを活用され、便通を整えていました。家族の協力もあり、野菜ジュースを作ってきて頂きました。薬剤師や看護師の協力で排便管理に努めていました。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	加齢と共に、皆さんにも起こり得る事ですが、必要に応じて主治医の指示を仰いで、整腸剤の使用をしています。大半は、食材や水分の調整、運動量、腹部マッサージなどで、可能な限り自然排便を心掛けています。	加齢と共に、皆さんにも起こり得る事ですが、必要に応じて主治医の指示を仰いで、整腸剤の使用をしています。大半は、食材や水分の調整、運動量、腹部マッサージなどで、可能な限り自然排便を心掛けています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合や曜日や時間帯を決めず、個々にそって支援をしている	基本的には、ご本人の希望に沿っていますが、重度化により入浴の間隔や時間帯は様々です。暖かい時間帯を利用して一人ずつ時間を費やして入浴を楽しめるように配慮しています。	基本的には、ご本人の希望に沿っていますが、重度化により入浴の間隔や時間帯は様々です。暖かい時間帯を利用して一人ずつ時間を費やして入浴を楽しめるように配慮しています。	入浴は週2回ゆっくりと楽しめる様、工夫されていました。一般浴に入れない方はシャワー浴や清拭で対応されています。湯船に入る時は二人体制で関わり、安全を確保されていました。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	馴染みの布団や小物など、個別の生活スタイルに合わせてご家族に用意して頂いています。馴染んだソファでゆったりとされている方、愛用のクッションで安心する方など生活習慣に配慮しています。	馴染みの布団や小物など、個別の生活スタイルに合わせてご家族に用意して頂いています。馴染んだソファでゆったりとされている方、愛用のクッションで安心する方など生活習慣に配慮しています。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム笑がお**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1階)	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	在宅医療管理指導にて固定の薬局で、薬剤師が毎週健康チェックをしながら薬の効能、副作用、用法や用量についてスタッフと連携しながら、症状の変化の確認に努めています。	在宅医療管理指導にて固定の薬局で、薬剤師が毎週健康チェックをしながら薬の効能、副作用、用法や用量についてスタッフと連携しながら、症状の変化の確認に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	アセスメントシート“センター方式”で知り得た情報を基に、やることをより具体的にプランに載せています。その方の出来る事出来ない事、価値観、嗜好品、趣味など楽しみ事や役割を見出して実践しています。	アセスメントシート“センター方式”で知り得た情報を基に、やることをより具体的にプランに載せています。その方の出来る事出来ない事、価値観、嗜好品、趣味など楽しみ事や役割を見出して実践しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に屋外に出ることを理念としていて、天気の良い日には公園やドライブに出掛ける事を日常にしています。地域の行事や外食、ピクニック、お花見など楽しみはたくさんあります。ご家族が、外出に協力して下さる事も多くあります。今年度もコロナの影響で楽しみも半減してしまっています。	日常的に屋外に出ることを理念としていて、天気の良い日には公園やドライブに出掛ける事を日常にしています。地域の行事や外食、ピクニック、お花見など楽しみはたくさんあります。ご家族が、外出に協力して下さる事も多くあります。今年度もコロナの影響で楽しみも半減してしまっています。	事業所の周りはいくらかの傾斜地ではありますが、近くのお寺さんや個々にあった散歩に出かけて外気浴を楽しませていました。コロナ禍で思うような外出は行えていませんが、できるだけ外気浴を楽しみ、生活に変化を作っていました。感染予防を行い、以前のような外出支援ができるよう検討されていました。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お財布を所持している方もいて、希望に沿って買い物支援をしています。愛読書の購入、お祭りの際の買い物などその方の希望や能力に応じています。今年度もコロナの影響でステイホームが続き、お金を使う機会が少なかったです。	お財布を所持している方もいて、希望に沿って買い物支援をしています。愛読書の購入、お祭りの際の買い物などその方の希望や能力に応じています。今年度もコロナの影響でステイホームが続き、お金を使う機会が少なかったです。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	コロナの影響で、ご家族の来訪を制限したり、時にはお断りする時期もありましたが、ご家族、親戚等からの電話、手紙等のやり取りには、個々の能力に応じて可能な限り支援をしています。	コロナの影響で、ご家族の来訪を制限したり、時にはお断りする時期もありましたが、ご家族、親戚等からの電話、手紙等のやり取りには、個々の能力に応じて可能な限り支援をしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には、ご家族の作品の絵や、観葉植物、花に囲まれたアットホームな環境です。廊下や居間は家族と撮った写真や、お出かけ時の写真など一面にあり、利用者の安心に繋がっています。また利用者の書道や手芸等の作品を展示しています。日中皆様がお過ごしになるフロアは、南側に面しており、明るいです。	玄関には、ご家族の作品の絵や、観葉植物、花に囲まれたアットホームな環境です。廊下や居間は家族と撮った写真や、お出かけ時の写真など一面にあり、利用者の安心に繋がっています。また利用者の書道や手芸等の作品を展示しています。日中皆様がお過ごしになるフロアは、南側に面しており、明るいです。	ユニットは1階と2階にわかれています。自由に行き来ができています。共有スペースには利用者の作品や季節の行事の様子、花や観葉植物が置かれ、ゆったりとした空間です。日課のリハビリ体操や行事は合同で行っていました。日向ぼっこをされる方やくつろがれる姿が見られました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有の居間だけでなく、玄関やホール、ベランダ、玄関先などには、椅子を置き、一人になれたり、気の合った仲間と過ごせる場所になっていて、お茶を飲まれたり、読書したり、日向ぼっこしたりしています。	共有の居間だけでなく、玄関やホール、ベランダ、玄関先などには、椅子を置き、一人になれたり、気の合った仲間と過ごせる場所になっていて、お茶を飲まれたり、読書したり、日向ぼっこしたりしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の入り口に表札を飾り、自宅で使用していたベッドや家具、寝具や小物など馴染みのものを居室に用意して頂いています。馴染んだ衣類等はハンガーラックに吊るし可視化して、ご自身で着用する服が選べるように配慮しています。	居室の入り口に表札を飾り、自宅で使用していたベッドや家具、寝具や小物など馴染みのものを居室に用意して頂いています。馴染んだ衣類等はハンガーラックに吊るし可視化して、ご自身で着用する服が選べるように配慮しています。	今までの生活を大切にされ、今まで使っていた物を持ち込まれています。ハンガーラックには普段の洋服が掛けられ、自分で選べるようにしていました。ボットや今まで使っていた食器の茶わん、お椀、湯飲みや箸を自宅からもってきて、使われていました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	オープンスペースの台所、トイレの案内、洗面所の使い勝手、洗濯物等、利用者が自発的な動きができるように、わかりやすく工夫しています。個々の能力に応じて自立した暮らしができるように支援をしています。	オープンスペースの台所、トイレの案内、洗面所の使い勝手、洗濯物等、利用者が自発的な動きができるように、わかりやすく工夫しています。個々の能力に応じて自立した暮らしができるように支援をしています。		